

納税環境整備に関する専門家会合（第6回）終了後の記者会見議事録

日 時：令和3年8月10日（火）15時50分

場 所：財務省第3特別会議室

○松汐主税局税制第一課企画官

本日、第6回の専門家会合が開催されましたが、その状況について簡潔に御説明申し上げます。

今回は、若干遡りますが昨年11月の総会で確認された、それまで4回の専門家会合の流れを継続し、ウィズコロナ時代の税務手続の電子化、事業者の適正申告の確保及び記帳水準の向上をテーマとして議論を継続するという方針を踏まえて、昨今のICT化を踏まえた記帳の実態について議論を行いました。

具体的には、前回、今年の6月になりますが、第5回の専門家会合で青色申告会、フリーランス協会から記帳の実態について御説明があり、委員の方から御意見をいただいたところです。その前も昨年10月に商工会議所や新経済連盟から同様にICT化を踏まえた近年の記帳の実態について民間の各種団体の皆さんからプレゼンがあり御議論をいただいているところです。

今回は、税務当局から見た記帳の実態とともに、ICT化を踏まえた小規模事業者の記帳、申告の便宜上の観点からの取組、そしてまた今後の税務行政の将来像についても議論がなされたところです。

前者の税務当局から見た記帳の実態については、事業を行う納税者について3つの記帳区分、記帳水準の区分に分けながら年代別、所得階級別、調査において指摘をされる比率など、これまでの政府税調よりも若干踏み込んだ形で国税庁で分析を行ったところです。

加えて、記帳や証拠書類の保存について比較的コンプライアンスの良くない納税者に対する調査において生じ得る状況や課税の公平性を確保するために苦勞する点について、かなり具体的な事案を踏まえて説明を受けたところです。

これに併せて納税者の申告等の手続負担の軽減を図りながら、また、納税者の利便性の向上を図りながら、課税の公平性を一層確保する観点から、今年6月に国税庁が公表した税務行政の将来像について説明があったところです。

また、ICT化を踏まえた小規模事業者の記帳、申告の便宜の向上の観点からの取組としては、国税庁が行っている記帳制度の周知・広報についての取組についての説明とともに、暗号資産の交換業者から取引を行う納税者に対して行っている取引明細に係る情報提供について、その仕組みの説明を受け、また財務省主税局参事官室から、OECDにおけるプラットフォーム事業者に求められる納税者への情報提供や当局間の情報交換のモデルルールに関する議論について、国際的動向の説明を受けた上で各委員から御意見をいただいたところです。

○記者

プラットフォーム事業者からの情報共有についてお尋ねします。資料では、EUは2023年から報告制度を導入すると書かれていますが、現時点で導入を決めているところはEUだけなのでしょうか。もし日本で同様の取組を実施する際の日本固有の課題がありましたら教えてください。

○松汐主税局税制第一課企画官

今般、まずOECDでこういった議論があって、とりわけEUの中でそれに先んじて2023年から導入するという話があったということですが、他の国がこれについて取組を行っていることは具体的には承知していないところです。

本制度を我が国において導入するかどうかについては、先ほど議論の中でもありましたが、当然プラットフォーム事業者から事業者、利用者に対して情報提供する形になろうかと思いますが、本人確認やこういった情報を出すのかということを含めた負担の在り方、また、プラットフォーム事業者の聞き取りも考えられます。カテゴリーは先ほど4種類ほど例示がされていましたが、こういったものが具体的に入っていくのかといった聞き取りの話でもあろうかと思いますが、早々簡単にというわけではないと思いますが、我々としましては、納税者の申告の便宜の観点から、国際的な状況を含めて、プラットフォーム事業者の御負担とのバランスを取りながら議論を進めていくことになると思っています。

○記者

プラットフォーム事業者が国内にもどんどん増えてきていると思いますが、この議論が進む上でそういった事業者自身から話を政府税調においてヒアリングすることは考えられるのでしょうか。

○松汐主税局税制第一課企画官

今の時点でプラットフォーム事業者から話を聞いてこのことについてどう思うみたいなものを具体的に予定しているかというところ今の段階では予定していませんが、今後やらないという意味ではありません。今後、岡村座長や中里会長ともご相談しながら、考えていくことになろうかと思っています。

○記者

全体の今後のスケジュール感を教えてください。

○松汐主税局税制第一課企画官

先ほど岡村座長から最後に発言があったと思いますが、次の会議日程が決まっておられませんので、今の段階では予断を持って申し上げるような状況ではないと思います。いずれにしても、前回の議論も含め、こういった議論があったということはどこかのタイミングで総会に報告するのだろうと考えています。

[終了]